

医療的ケア児等の災害時における支援の検討について

1. 前回会議以降の取組

- ▶ 前回会議において、医療的ケア児等の災害時における支援の取組案について説明、この間以下の取組を進めてきたところ

(1) 医療的ケア児及び家族に対する情報発信

医療的ケア児等が災害時に必要となる情報が入手しにくい

情報を集約・整理のうえ一元的に情報発信を行い、防災意識の向上を図り災害時の備えを促す

〔取組内容〕

- 災害関連情報を掲載するホームページの作成

医療的ケア児が平時及び災害時に必要となる情報（避難に必要な物品・ハザードマップ等）をとりまとめ、別紙のとおり本市ホームページ「医療的ケアが必要なこども等への支援」に掲載し、一元的に情報発信を行う予定

(2) 医療的ケア児の災害時の避難にかかる課題の把握

医療依存度が高い医療的ケア児の避難は緊急性及び個別性が高く、個々の状況に応じた支援が必要



医療的ケア児の避難にかかる課題（不足する支援・資源等）を把握する



〔取組内容〕

● 避難にかかる課題の洗い出し

区役所あて医療的ケア児の避難にかかる課題について以下の観点で照会を実施

- ・個別避難計画の作成を通じて見えてきた医療的ケア児の避難の際に不足する支援や資源
- ・個別避難計画が作成されていないケースにおいて障壁となっている事由

2. 区役所向け実態調査結果

調査概要

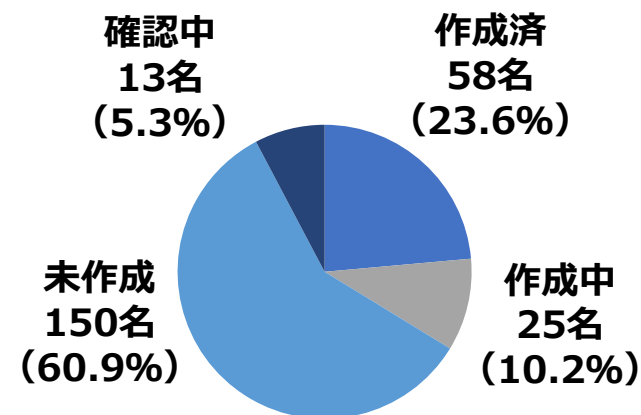
- 期間：令和7年5月23日～令和7年6月6日
- 調査対象：各区役所
- 主な調査項目
 - ▶ 個別避難計画の策定状況（R6.4.1時点で把握している医療的ケア児：246名を対象とする）
 - ▶ 個別避難計画の作成を通じて見えてきた医療的ケア児の避難にかかる課題（不足する支援や資源）
 - ▶ 個別避難計画が作成されていないケースにおいて障壁となっている事由
 - ▶ 各区での医療的ケア児の避難にかかる取組

調査結果

（1）個別避難計画の策定状況

- ▶ 医療的ケア児の個別避難計画の**作成率は23.6%に留まる**

[58名／246名]（R7.6.17時点）



（２）個別避難計画が作成されていないケースにおいて障壁となっている事由

- ▶ 家族の方が個別避難計画の作成及び関係機関や地域への共有について、拒否的なケースがある（５区）
- ▶ 関係機関との情報共有や連携、地域の協力者の確保が進まず、作成に至らない（６区）

（３）医療的ケア児の避難にかかる課題（不足する支援や資源）

- ▶ 災害時避難所や福祉避難所へ医療機器充電用の発電機や蓄電池を配備しているケースは少ないことから、停電時の非常用電源の確保にかかる支援が不足している（１０区）
- ▶ 対象児童、医療機器、避難物品等とともに避難するのは困難であることから、避難時の協力者及び避難手段の確保、医療物品の備蓄等が必要である（７区）
- ▶ 医療的ケア児が安心して避難できるような避難所の確保が必要である（７区）
- ▶ 災害時の避難における平時からの取組や自助の必要性の理解が乏しい（６区）
- ▶ 医療、福祉等の関係機関や地域との連携による支援体制の強化が必要である（６区）

(4) 各区での医療的ケア児の避難にかかる取組（好事例）

【非常用電源の確保】

- ▶ 医療的ケアが必要な方への支援等を想定した蓄電池を区役所で保有。
- ▶ 地域の個人経営の工務店等へ発災時の電源確保にかかる協力依頼を実施。

【個別避難計画の作成・避難訓練の実施】

- ▶ 関係機関への発災時の対応確認、保健師・関係機関・地域の関係者・主治医とともに計画の共有や見直しを実施。今後、計画に基づいた避難訓練の実施に向け調整予定。
- ▶ 保健師の定期訪問に防災担当が同行のうえ意見交換を行い、計画を策定した。
- ▶ 個別避難計画の作成について、各地域の連合長会役員、民生委員、介護事業所、障がい事業所、医療機関へ説明し、作成のサポートや作成の促し等の協力を得ている。
- ▶ 対象児童の状況や計画の作成意向について、民生委員との意見交換を実施。
- ▶ 対象児童とともに保健師が区内防災訓練に参加し、今後の方針について検討を実施。

【研修関係】

- ▶ 「災害BCP研修」として、人工呼吸器メーカーや医療・看護・介護関係者を招き、専門職向けに災害時における人工呼吸器等装着者への対応について考える研修を実施。

3. 今後の取組（案）

- ▶ 区役所向け実態調査の結果を踏まえ、以下の事項について優先的に取り組む

（１）個別避難計画の作成促進

〔取組案〕

- **医療的ケア児の個別避難計画の作成にかかる周知啓発**
個別避難計画の作成の必要性や作成時の留意点について、各区あて周知・啓発を行う
- **個別避難計画の作成にかかる好事例の共有**
実態調査結果を各区に提供のうえ好事例の共有を行い、効果的な計画作成を促す
- **個別避難計画の作成にかかる理解促進の取組**
医療的ケア児及びその家族、地域の協力者の個別避難計画の作成にかかる理解促進を促すため、周知ビラの作成やSNS等を活用した情報発信を行う

（２）非常用電源の確保

〔取組案〕

- **非常用電源確保支援事業の検討**
在宅で人工呼吸器を使用している、または気管切開により医療機器を日常的に使用している方への発電機や蓄電池の給付事業について、他都市の動向等を注視し検討を進める

[トップページ](#) > [くらし](#) > [健康・医療・福祉](#) > [障がいのある方へ](#) > [お知らせ](#) > 医療的ケア児の災害への備えについて

医療的ケア児の災害への備えについて

ページ番号：650470 2025年6月27日

はじめに

災害時に医療的ケアを必要とするお子さんとその家族は、さまざまな困難に直面することが考えられます。災害が発生すると、避難、電源の確保、医療・福祉機関等との連携、必要な物品等の確保等が必要になるため、普段から災害時を想定して準備をしておきましょう。

平常時の備えについて

1. お住まいの地域の災害想定を知りましょう

想定される災害と危険性を知ったうえで、平時から避難について考えておくことが大切です。お住まいの地域の「ハザードマップ」や「災害想定」等を確認し、自分が住む地域にどのような災害の可能性があるか、また災害によってどのような影響を受けるかをイメージしましょう。

- [”津波・水害から命を守るために”水害ハザードマップ](#)
- [災害想定（震度分布・液状化予測・津波浸水想定）](#)

2. 防災情報を確認しましょう

災害時は、避難するタイミングを見極めることが重要です。医療的ケアを必要とする方にとって、自宅を出て避難することは決して容易なことではありません。災害に関する情報を十分に把握し、避難するかどうかの判断をしましょう。

- [大阪防災アプリ](#)

災害状況をはじめ、浸水想定図、避難場所、避難ビルなどの情報、避難時の注意点、避難してからの安否確認や避難生活情報などの役立つ情報が入手できます。

- [おおさか防災ネット](#) 

大阪府下の避難所情報、地震・津波情報、台風情報等が確認できます。

3. 避難について考えましょう

災害時に的確に対応するために、事前に起こりうる災害を想定したうえで複数の避難先を考え、避難経路等を確認しましょう。避難の際に協力が必要な場合は、協力が得られるようにしておきましょう。平時から、近所の方などに協力を得られるような関係づくりも大切です。

- [災害時の避難場所、避難所について](#)
- [大阪防災アプリ](#)（再掲）

災害状況をはじめ、浸水想定図、避難場所、避難ビルなどの情報、避難時の注意点、避難してからの安否確認や避難生活情報などの役立つ情報が入手できます。

- [おおさか防災ネット](#) （再掲）

大阪府下の避難所情報、地震・津波情報、台風情報等が確認できます。

災害の状況によっては、自宅が最も適切な避難場所になることもあります。自宅避難する場合は、事前に自宅の環境整備をしておく必要があります。

- ## 5. 災害時に必要な物品を準備しましょう

ライフラインの復旧に時間がかかる場合に備えて、1週間程度の物品を備え、平時から「災害発生時に備えての準備」を活用し、物品のチェックをしておきましょう。

特に災害時には停電が発生する可能性が高くなるため、人工呼吸器等の電源確保が不可欠です。機器を使用している場合、災害が起きる前から、使用している医療機器や自宅の状況に合わせて、複数の外部電源を確保しておきましょう。

災害が発生した際には、主治医、訪問看護ステーション、支援機関等に安否や状態を連携する必要があります。医療機関や事業所等の緊急時連絡先をまとめておきましょう。

災害時には携帯電話や固定電話等はつながりにくくなることがありますので、SNSの活用も含め複数の連絡手段の確保に努めましょう。

- [「災害用伝言ダイヤル（171）」](#) 
- [「災害用伝言版（web171）」](#) 

7. 災害時の備えについて確認しましょう

ご家庭の災害時の備えについて、チェックリストを使って事前に点検してみましょう。災害が発生した時を想定し、何をどのように備えるべきか、具体的に把握しましょう。

[illegible]

 SNSリンクは別ウィンドウで開きます



【アンケート】このページに対してご意見をお聞かせください

このページの作成者・問合せ先

大阪市 福祉局障がい者施策部障がい支援課

住所：〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号（大阪市役所6階）

電話：[06-6208-7986](tel:06-6208-7986)

ファックス：06-6202-6962

[メール送信フォーム](#)

Copyright (C) City of Osaka All rights reserved.

閉じる

スマートフォン表示

コントラストチェッカー



災害発生時に備えての準備

～医療的ケア児及びそのご家族の皆さまへ～

資料 6
(別紙)

1. お住まいの地域の被災想定、避難所を確認しましょう

ハザードマップを見て、避難経路も確認しておきましょう

避難の際に協力者が必要な場合は、協力が得られるようにしておきましょう

2. 家の安全対策を確認しましょう

- ☐ タンスや冷蔵庫などの家具は転倒防止器具で固定する
- ☐ 窓や戸棚のガラスに飛散防止フィルムをはる
- ☐ テレビはできるだけ低い位置に置き、粘着マットで固定する
- ☐ 玄関や出入口までの通路に家具など倒れやすいものを置かない

家族と共有して
おきましょう



3. 緊急時に持ち出すもの

○基本品目

※大人2人の場合

- | | | | | | |
|---|-----|--|------|---|------|
| <input type="checkbox"/> 非常持ち出し袋 | 1個 | <input type="checkbox"/> 救急袋（以下9点を入れる） | | <input type="checkbox"/> サバイバルブランケット | 2枚 |
| <input type="checkbox"/> 缶入り乾パン | 2個 | <input type="checkbox"/> 毛抜き | 1本 | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | 2枚～ |
| <input type="checkbox"/> 飲料水（500mlペットボトル） | 6本 | <input type="checkbox"/> 消毒液 | 1本 | <input type="checkbox"/> タオル | 4枚～ |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | 2個 | <input type="checkbox"/> 脱脂綿 | 適当量 | <input type="checkbox"/> ポリ袋 | 10枚 |
| <input type="checkbox"/> ローソク | 2本 | <input type="checkbox"/> ガーゼ（滅菌） | 2枚 | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー | 1ロール |
| <input type="checkbox"/> ライター | 2個 | <input type="checkbox"/> ばんそうこう | 10枚～ | <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ | 2個 |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | 1台 | <input type="checkbox"/> 包帯 | 2巻 | <input type="checkbox"/> 現金／公衆電話用の小銭（10円硬貨） | 1個 |
| <input type="checkbox"/> 十徳ナイフ | 1本 | <input type="checkbox"/> マスク | 2枚 | <input type="checkbox"/> ガムテープ（布製） | 1個 |
| <input type="checkbox"/> 軍手・手袋 | 2組 | <input type="checkbox"/> 三角巾 | 2枚 | <input type="checkbox"/> 油性マジック（太） | 1本 |
| <input type="checkbox"/> ロープ5m～ | 1本 | <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬 | 適当量 | <input type="checkbox"/> 筆記用具 | 1セット |
| <input type="checkbox"/> 乾電池 | 適当量 | <input type="checkbox"/> 生理用品 | 適当量 | <input type="checkbox"/> レジャーシート | 1枚 |

○個人や家庭の事情に応じて検討するもの

【必需品・貴重品類】

- ☐ 車や家の予備鍵
- ☐ 予備メガネ・コンタクトレンズ
- ☐ 携帯電話／スマートフォンと充電器
- ☐ 預金通帳のコピー
- ☐ マイナンバーカード（健康保険証）のコピー
- ☐ 運転免許証のコピー
- ☐ パスポート・外国人登録証のコピー

【乳幼児用品】

- ☐ 非常食
（ミルクや哺乳瓶、ミルク用の水
離乳食と食器、おやつ）
- ☐ 紙おむつ、おしりふき
- ☐ 母子手帳
- ☐ お気に入りのおもちゃ
- ☐ 抱っこひも



○お子さまの状況に応じて持ち出すもの

- ☐ 特定医療費（指定難病）受給者証のコピー
- ☐ 小児慢性特定疾病医療受給者証のコピー
- ☐ 障がい者手帳、障がい福祉サービス受給者証のコピー
- ☐ 各種医療証のコピー
- ☐ 受診券
- ☐ 常備薬・お薬手帳 ※ 1
- ☐ 処置に必要な医療物品 ※ 1
- ☐ 医療機器 ※ 2
- ☐ ヘルプマーク
- ☐ 毛布や携帯カイロなど
（体温調節用）
- ☐ おむつ
- ☐ 着替え
- ☐ 特別食
- ☐ 連絡先を書いたメモ

※ 1 内服薬の優先順位や、薬が確保できない場合の
対処法などを平時から主治医と相談しておきましょう。

※ 2 災害時に持ち出す医療機器や対応については、
平時から主治医と相談しておきましょう。

【ヘルプマーク】

避難する時や、
避難所で周囲の
配慮を必要とする時
に活用しましょう



○配布窓口
各区保健福祉センター
（障がい福祉担当）
福祉局障がい福祉課
各大阪市サービス
カウンター

4. 家庭に備えておくもの

●飲料

- ☐ 飲料水（2 L ペットボトル）
- ☐ 非常用給水袋

●食料

- ☐ アルファ米
- ☐ 乾パン
- ☐ 塩
- ☐ インスタントラーメン
- ☐ 缶詰類
- ☐ レトルト食品
- ☐ スープ
- ☐ 味噌汁
- ☐ ビスケット
- ☐ キャンディー
- ☐ チョコレート

●衣類

- ☐ 上着
- ☐ 下着
- ☐ 靴下

●生活用品

- ☐ タオル
- ☐ バスタオル
- ☐ 毛布
- ☐ 雨具
- ☐ 予備電池
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料
- ☐ 鍋
- ☐ 卓上コンロ
- ☐ 石炭
- ☐ やかん
- ☐ 皿（紙・ステンレスなど）
- ☐ コップ（紙・ステンレスなど）
- ☐ わりばし
- ☐ スプーン
- ☐ フォーク
- ☐ ラップ
- ☐ アルミホイル

- ☐ ドライシャンプー
- ☐ 携帯電話／スマートフォンの充電器
- ☐ 新聞紙
- ☐ カイロ
- ☐ 安全ピン
- その他
- ☐ ブルーシート
- ☐ ガムテープ（布製）
- ☐ 軍手



救援物資が届くまでの**1週間程度**
自足するつもりで備えましょう

5. 災害に関する情報の入手方法

（1）大阪防災アプリ

浸水想定図、避難場所、避難ビルなどの情報をはじめ、災害状況や避難時の注意点、避難するかどうかの判断、避難してからの安否確認や避難生活情報など役立つ情報が入手できます。

【大阪防災アプリ】

下記QRコードを読み込むとダウンロードできます



アンドロイド端末用



iPhone・iPad端末用

※アプリは無料でダウンロードできます。

詳細は大阪市ホームページを確認して下さい。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000345020.html>

（2）おおさか防災ネット

大阪府下の避難所情報、地震・津波情報、台風情報等が確認できます。

※詳細は大阪府ホームページを確認して下さい。

<http://www.osaka-bousai.net/osaka/>

【防災情報メール】

下記QRコードを読み込み、空メールを送信すると、登録手続き用のメールが届きます。



また「防災情報メール」に登録すると、登録地域の気象・地震・津波情報、災害時の情報についてメール配信されます。

6. 災害時の連絡手段

災害時は電話がつながりにくくなるため、「NTT災害用伝言ダイヤル」や「NTT災害用ブロードバンド伝言板（Web171）」等が家族への連絡や安否確認に役立ちます。

また、各携帯電話ごとに災害時の伝言サービスがありますので、各社ホームページでご確認下さい。

（例）NTT災害用伝言ダイヤル

